



共通テストの出願

大学入学共通テストは、各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。毎年1月中旬の土・日の2日間に全国で一斉に実施される、日本最大規模の試験で、今年度から、新学習指導要領に対応した入学試験となります。約50万人が受験する試験であり、国公立大入学試験の1次試験となります。さらに、私立大の多くが、得点を合否判定に利用する入試方式を採用しています。本校3年生では、約220人（9割）が受験予定となっています。3年生は勿論、1、2年生も、今から基礎的な知識を身につけておきましょう。

2025年度は、令和7年1月18日（土）19日（日）の2日間行われ、以下は、その時間割です。

3年生の対象者に向けての出願に関する説明会は、令和6年9月6日（金）5、6校時に行われます。

共通テストは、すべてマークシート方式で行われます。各教科科目とも、知識・技能のみだけでなく、思考力・判断力・表現力等も重視した出題となっています。

入試科目は、共通テスト・2次試験（個別学力検査）とも大学により異なります。共通テストの中で、多くの国公立大学が共通テストで6教科8科目を課します。なお、この6教科8科目の構成は、大別すると次の3つのパターンに分けられます。

（文型）

外・数2・国・理・地公2・情（数2が必須でないパターンも含む）

（理型）

外・数2・国・理2・地公・情

（選択型）

外・数2・国・情必須、理・地公から3（数2が必須でないパターンも含む）

国公立大学でも、少数派ながら少ない教科・科目数で受験できる大学はありますが、

受験科目を絞れば、負担が減るかわりに、志望校の選択幅が狭まります。国公立大学志望者は6教科8科目に対応した学習を基本と考えましょう。私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が一般的です。また、科目選択時に、数学、理科、社会の選択には、注意が必要です。

受験教科は出願時に、自分が受験する教科科目を登録します。各大学が受験を求めている教科・科目を受験していない場合、受験資格を失うことになります。

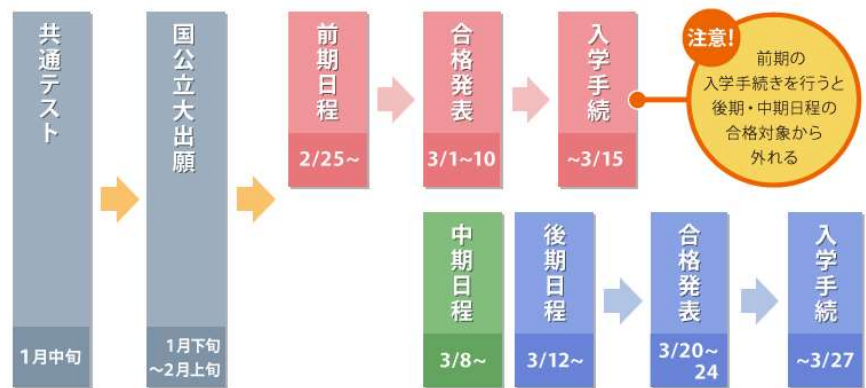
試験日	試験教科・科目		試験時間・配点
1日目 (1/18)	地理歴史・公民	『地理総合・地理探究』	2科目受験（200点） 9:30～11:40
		『歴史総合・日本史探究』 『歴史総合・世界史探究』	
		『公共・倫理』『公共・政治経済』 『地理総合・歴史総合・公共』	1科目受験（100点） 10:40～11:40
	国語	『国語』	（200点） 13:00～14:30
	外国語	『英語』	リーディング（100点） 15:20～16:40 リスニング（100点） 17:20～18:20
2日目 (1/19)	理科	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』	2科目受験（200点） 9:30～11:40
		『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目受験（100点） 10:40～11:40
	数学(1)	『数学Ⅰ・A』『数学Ⅰ』	（100点） 13:00～14:10
	数学(2)	『数学Ⅱ・数学B・数学C』	（100点） 15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』	（100点） 17:00～18:00

テスト結果については、直後に得後に自己採点を行い、その結果と、個別試験の内容などを総合的に判断し、出願する大学を決めることになります。成績開示がありますが、これは請求した生徒に、後日示されることとなります。よって、マーク式の模擬試験では、実際の点数と自己採点結果にずれについて、普段から意識しておくことが必要です。

各大学で実施される2次試験（個別学力検査）は2月下旬から行われます。

2次試験は「前期日程」「後期日程」の2つの日程に募集人員を振り分けて選抜する「分離・分割方式」という制度で実施されます。（右表は、分離・分割方式のしくみです。）受験生は「前期日程」と「後期日程」にそれぞれ1校ずつ出願できます。同じ大学・学部を2回受験することも、別々の大学・学部を受験することもできます。また、一部の公立大学では「中期日程」を設定する大学もあります。これらをあわせると国公立大学は最大3校の受験が可能となります。

(参照：河合塾k e i-n e t)



模擬試験を有効に活用しよう

全学年で、7月に実施した模試の結果が出ました。

模擬試験は、現在の自分の「実力」と、全国での「位置」を知る機会です。結果を現実として、冷静に受け止めましょう。そして、以後の行動への足がかりとすることが大切で、学習方法の見直しも考えましょう。

特に、3年生は、9月以降、多くの模擬試験が続きます。結果が伴わなくても、自分を信じ、目標達成に近づけてください。

結果では、全国偏差値、校内順位、志望校判定に注目しがちですが、それだけでは十分ではありません。是非、各教科の「設問別成績」、「教科バランス」に注目しましょう。

「設問別成績」については、その分野が、全国平均や同一大学志望者の平均と比較してどうなのかを見てください。

「教科バランス」については、得意教科、苦手教科のバランスを見てください。中でも、苦手教科は伸び代が大きいとも言えます。得意教科で、学習のペースをつかみ、苦手教科の対策をするというのが、学習法の一つと言えるでしょう。特に1・2年生は、英語、数学、国語のバランスを意識してください。中でも、英語は、文型、理型を問わず、重要な教科です。1・2年で、大枠は決まってきます。英語が苦手な生徒は、至急、対応をしてください。3年生については、理科、社会の伸びが、鍵を握ります。言い換えれば、英語、数学、国語は、現時点の力がベースとなるということです。それらを踏まえて、受験計画を練り直しましょう。

一般試験で合格できる力を付ける努力が大切ですが、受験方法によって、自分に有利な方法があるなら、柔軟に考えていくことが必要で、それは時期や状況によって、優先順位は変わってきます。



看護出前講座実施

7月23日(火) 14:30~15:50 本校視聴覚室において、3年生の看護医療系の希望者対象に、星総合院看護師長の久保木優佳、別府禎子氏をお招きし、看護の仕事とは何かについて御講演いただきました。

13名が参加し、注射の体験等をする中で、看護師という仕事の喜びそして現実を知り、その決意を新たにしました。生徒の感想にも、その姿が現れていました。